

## 高橋様への偲び

2022 年の新年早々に、日本複合材料の友人高橋儀徳様はご永眠された事をお聞きして、ここに謹んでご哀悼の意を表するとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。**青山無言九天寒、友人仙逝鶴鳴低。**(中国語:)

中国複合材料工業協会の趙俊山常務副会長、薛忠民副会長、元協会秘書長の陳博、呂琴はあまり突然のことで信じられないくらいです。高橋様の顔がまだ残っていて、友情が永遠に続くことを追想します。中国複合材料工業協会は中国業界の友人の代表として、ご遺族様のお悲しみを思うと、お慰めの言葉もあります。心よりお悔やみ申し上げます。

2021 年 12 月 7 日、高橋様は人の世で苦しい旅をやめ、慈愛の目を合わせ、穏やかにこの世界と別れ、彼の一生愛している複合材料事業を離れました。

高橋様は 1957 年に日本国早稲田大学を卒業し、1958 年に合成樹脂新聞社に入社。FRP 工業を題材に編集長、編集委員などを務め、通産省合成樹脂成形業界の実況調査に参加。1968 年に産業資材新聞社を設立、プラスチック産業資材新聞を創刊、社長を務めた。1969 年から FRP 強化プラスチック協会編集委員会委員を務めています。何度もチームを集めて中国に考察して来られ、複合材料の新技术を伝播し手くございました。

中国複合材料工業協会と高橋様の縁は 1990 年代初めから始まり、今まで 30 年近くの付き合いがあり、通信がまだ発達していない前世紀、高橋様はいつもタイムリーに日本複合材料週報、月報、業界年報、専門誌を協会に送り、協会の関連書籍の翻訳も手伝ってくださいました。元協会秘書長の陳博氏がこのほど協会に寄贈した日本書籍はすべて高橋様から贈られたのです。協会が日本を訪問する際、ほとんどは高橋様が直接接待してくださいました。訪問期間中、業界の同僚は高橋様の親切さと至れり尽くせりのもてなしが印象的でした。高橋様は 1995 年の第 1 回 CCE から 2016 年の定年まで日本の業界代表団を集めて当展覧会に参加し、累計 22 回、500 人以上が中国企業を訪問して中国市場を考察してきました。高橋様の橋渡しの役割を通じて、中日複合材料協会の協力や交流を促進しただけでなく、中日複合材料業界の人々の友情も増進しました。高橋様は日本の複合材料技術が中国での伝播に非常に重要な役割を果たし、業界の発展を促進しました。中国複合材料工業協会はこの古い友達を忘れず、中国複合材料業界の同業者は永遠に私たちの国際の友人をお偲びします。

**草木无语大地同悲、哀乐挽歌高天回响**(中国語:)、私たちの尽きない悲しみを語っている。私たちの国際の友人は千里を隔てていますが、高橋様の逝去に対する私たちの悲しみと綿々とした思いを遮断することはできません。彼の一生の苦しさや美しい魂を安らかにすることを祈ります！

中国複合材料工業協会  
2022 年 1 月 12 日